

【社会科】分析



○正答率の低い力 → 各学年の授業改善に生かす。

A教科の内容（基礎的基本的な能力）

問われている力	設問	正答率	課題	改善点（具体的な学習活動・内容・方法）
・社会的事象についての知識・理解	3－（１）	55%	・自分たちの通う小学校がある都道府県の位置を把握していない。	・ベーシックドリル等の活用で既習事項を確実に身に付ける。 ・地図を活用し、市区町村の位置を覚える。

B読み解く力に関する内容（思考力・判断力・表現力）

問われている力	設問	正答率	課題	改善点（具体的な学習活動・内容・方法）
・社会的な思考・判断・表現力	5－（２）	61%	・昔の知恵や工夫が現在の暮らしに生かされていることが実感として理解できていない。	・使われていた実際の道具を見る活動を通し、共通点や相違点から考えられることを表現する活動の充実。
・比較・関連づけて読み取る力	6－（２）	61%	・資料から必要な情報を取り出し、売り上げの変化と新商品開発の背景を関連付けて考えることができなかった。	・グラフや表を丁寧に読み取り、わかったことや考えたことを表現する活動の充実。
・意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	6－（３）	61%	・新商品開発の背景と開発者の考えについて推論することができなかった。	・グラフから読み取った情報から、問題を把握し、問題を解決するためにどのようなことが必要か自分なりの考えを表現し、交流し合う学習場面の設定。

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】

●低学年…

●中学年…

●高学年…

	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> 図や表にじっくりと触れる機会を増やす。 学習してわかったことや考えたことなどを「自分なりの言葉で」まとめる活動を増やす。 ベーシックドリルを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験的学習を通し、考えたことやわかったことを発表・交流による言語活動を充実させ、対話的な学びで思考力を深める。 実感をもって追究できるような学習問題を設定し、主体的に問題解決できるよう単元計画を工夫する。
		<ul style="list-style-type: none"> じっくりと「個人で考える場面の充実」（予想やまとめの段階）と「言語による交流活動」の設定を工夫する。 グラフや写真などの丁寧に読み取り、自分事として考えられるような学習問題を設定する。